

新刊紹介

さあ、夏休み。子どもと一緒に身近な自然を楽しみましょう。

減っているってほんと？日本カエル探検記

関慎太郎／写真・文 少年写真新聞社



カエルの数が減っているって本当？カエルを撮り続けてきた著者が、日本列島に住む48種のカエルのすみかを訪ねて、減った理由を探ります。環境について考えるきっかけにもなる1冊です。

虫や鳥が見ている世界

紫外線写真が明かす生存戦略

浅間 茂／著 中央公論新社



紫外線も見ることができる虫や鳥には、世界がどう見えているのか。著者が自作した紫外線カメラで撮影した写真で、私たちが普段見ることのできない世界をのぞいてみましょう。

ヘンな名前の植物

ヘクソカズラは本当にくさいのか

藤井義晴／著 化学同人



かわいい花を咲かせる植物に、何でこの名前？たくさん植物の中には、ヘンな名前を持つものがあります。きたない名前からセクシーな名前、不吉な名前まで、その由来にせまります。

虫ぎらいはなおるかな？

昆虫の達人に教えを乞う

金井真紀／文と絵 理論社



虫嫌い歴40年の著者が、虫嫌いを克服するために、さまざまな虫の達人にインタビューを敢行。虫との付き合い方を模索します。

草取りにワザあり！

西尾 剛／著 誠文堂新光社



どれだけ抜いても、ひと雨降ればあっという間にのびる雑草。この本では、雑草と呼ばれる植物の種類や特徴を解説し、適した草取りの方法を紹介しています。

イモムシの教科書

安田 守／著 文一総合出版



『イモムシハンドブック』の著者が、イモムシのさまざまな疑問に答える本。そもそも「イモムシ」とは何を指している？なんでイモムシと呼ぶの？面白い切り口で、苦手な人でも読んでみたくなる一冊です。

ぜんぶわかる！アリ

島田 拓／著 ポプラ社



地面に目をやると忙しそうに動き回るアリの姿。アリは身近な虫ですが、ヒアリのように人に危害を与えるアリもいます。豊富なカラー写真で紹介されるアリの生態。驚きが満載です。

わくわく！工作塾

家にあるものを使って、簡単で楽しい工作をします。

- 日時 7月29日(月)／午前10時～正午
- 会場 文化会館小ホール
- 対象 小学1～6年生
- 定員 30人(先着順)

わいわい！本であそび塾

本を使ってゲーム遊びをします。ゲームを通して本の世界を楽しく冒険してみませんか。

- 日時 7月30日(火)／午前10時～正午
- 会場 文化会館小ホール
- 対象 小学3～6年生
- 定員 20人(先着順)

- 申込方法 電話、図書館カウンターのいずれかで申込み
- 申込受付 7月2日(火)／午前10時～
- ※工作塾で必要なものは、後日はがきでお知らせします